

○「海賊とよばれた男」上・下 各 1575 円 (講談社)

百田尚樹

「永遠の0」が大ヒット!! 百田尚樹の経済小説。敵首はならん!! 戦後の苦しい時代に社員を一人も首にせず、世界を相手に戦いつづけた国岡鐵造。これぞ日本人の誇り!!

○「きみはいい子」1470 円 (ポプラ社) 中脇初枝
親子とは近くて遠い存在。愛して欲しいだけなのに・・・
反対に切りたくても切れない・・・。人それぞれの親子関係があると思います。読み終わった後家族と話したいと思いました。心にじ〜んとくるそんな小説です。

○「屍者の帝国」1890 円 (河出書房新社) 伊藤計劃、円城塔

日本 SF 大賞作家・伊藤計劃、未完の遺作を芥川賞作家・円城塔が書き上げた究極のエンタテインメント小説。わくわく・ぞくぞくしたい方にオススメです!!

○「晴天の迷いクジラ」1575 円 (新潮社) 窪美澄

「ふがいない僕は空をみあげた」は 2011 年本屋大賞 2 位。

ふとこの慌しい世の中で、ひとりポツンと置いていかれた気分になったことはないですか? そんな人生の狭間を描いた小説。うまくいくだけが人生じゃない・・・。

○「楽園のカンヴァス」1680 円 (新潮社) 原田マハ

絵画鑑定ミステリー。若き美術家 2 人がこの謎に挑む。タイムリミットは 7 日間。絵に隠された秘密とは? わくわくどきどき知的好奇心をくすぐられる 1 冊。

○「百年法」上・下 各 1890 円 (角川書店) 山田宗樹

人類は不老不死の技術を得た。

しかし法律により不老不死の手術を受けたものは 100 年後に死ぬ義務がある。不老不死の人間社会とは??そして人々がだす結論とは?

嫌われ松子の作者によるエンタテインメント小説。

○「64」1995 円 (文藝春秋) 横山秀夫

警察官としての葛藤、夫としての葛藤、そして父としての葛藤。

64 というある誘拐事件が与えた影響とは?? 64 の謎を追っていくうちに警察の闇にのまれていく。がっつり読める警察小説。

○「光圀伝」1995 円 (角川書店) 沖方丁

第 7 回本屋大賞「天地明察」につづく歴史エンタテインメント小説。水戸黄門として知られる光圀。

彼はいかにして「大日本史」編纂という大事業を成し遂げたのだろうか?? 新たな光圀を発見!!

歴代本屋大賞		
1	博士の愛した数式	小川洋子
2	夜のピクニック	恩田陸
3	東京タワー	リリー・フランキー
4	一瞬の風になれ	佐藤多佳子
5	ゴールデンスランパー	伊坂幸太郎
6	告白	湊かなえ
7	天地明察	沖方丁
8	謎解きはディナーのあとで	東川篤哉
9	舟を編む	三浦しをん



←『天地明察』も大ヒット!!
安井昇哲も少し登場して、
『天地明察』より
読みたえありヨヲ。

